

## 2023年9月ハイパーカレンダーレポート

9月が終わりそろそろ涼しくなってきた。今年は、例年よりも暑く記録的な猛暑が続いたと思うが、そんな日々も終わるといってちょっぴり切ない。夏真っ盛りの思い出と秋への恋しさとが同居するそんな不思議な時期。でも食べ物が美味しく景色も綺麗で爽やかな時期、待ちに待った秋がやってくるんだと思うと嬉しくなってくる。今年は何をしようかと考えるだけでワクワク楽しくなって、笑ってしまうのは私だけかな。

先ごろ私は所長にある本を読む課題を与えられていた。ちょうど読み終わったので今回は感想をここに綴ろうと思う。その本は2021年に発売されたカズオ・イシグロの「クララとお日さま」という本だ。カズオ・イシグロは1982年にデビューし2017年にはノーベル賞を受賞した人気作家である。この本の主人公はクララ、人工知能(AI)を搭載した友達ロボット(AF)である。人間とは違った感情を著者が微妙に表現するものだから、最初は不思議な読み心地だった。“AFには心がない”作中でも似た表現があり、私自身もそう考えていた。だけどクララには心があるように、心を育てているようにも思えた。純粹に主人である友達のために必死であり、その様子は登場人物の誰よりも綺麗でまっすぐな心を持っているかのようだった。でもクララは最初から心を持っていたのだろうか？誰よりも観察力に長けていたから人の感情を鋭く読み取ることで、クララは心に近いものを学習していったのだろうか。主人の命令通りにしか動かず、自己判断する力を持たないAFが、クララの場合、自己学習することで自己判断までするようになっていくという過程にとっても感動した。ただ主人である友達のためを思い、成長というか、アップデートというか、そんなクララの生き方(AI進化)は本当に素晴らしいと、感情移入してしまった。タイトルの「お日さま」との関係まで書き出すと止まらないので今回の感想はこの辺にて。

入社して半年が経過、兎にも角にも時間の速さにとっても驚いている。6月にこのカレンダーレポートを書いたが、それからもう3ヵ月過ぎてしまったとか信じられない。ここ最近では就職前から希望していた業務「中小企業庁の情報モラルプロジェクト」に入ることが出来た。この事業は全国10箇所で開催する、そのためのチラシデザインが私のミッション。人の目を引き付ける、そして伝えたい情報をどれだけ簡単に分かりやすく表現するかが大事ということを理解した。デザインの4原則(近接・整列・反復・強弱)、配色やフォントについても沢山悩んだポイントだ。4月から担当の「大分県ICT教育サポーター育成プラットフォーム」では、半年が経過したこともあってだいぶ慣れてきた。約40名もいるサポーターは個別に学校訪問するので、なかなか知り合えなかったが、SNS Slackを通して、皆さんを覚えることが出来た。このSlackは凄くて、質問を投げると、一緒に考えてくれる人、知っていることを教えてくれる人、そんな仲間がいると思うだけでとても心強い。きっと信頼の輪はサポーター皆さんに広がっているんじゃないのかなと。



主人公クララと友達ジョジーが出会ったシーンを描いてみた。  
AFショップのウィンドウ越しに出会うことから物語が始まる。

(文責：有廣美優)